

るいは、新規就農者への補助金について、前回の議会でも補正予算を計上させていただいたところ

です。

現在、経営再開マスタープランを作成するに当たり、成東の南郷地区、山武の日向地区、陸岡地区、松尾の豊岡地区、この4地区において、経営再開マスタープランの策定に着手しています。

その中で、新規就農者の受け入れ、あるいは、その中心となる経営体の構成を図ってまいりたいと思

っております。

**Q** 市内産米粉の活用について、どれくらい

のペースで消費されているのか。

**A** 経済環境部長 現在、

月約10俵程度のペースで製粉しています。

**Q** 以前から質問で取り上げているが、学校給食での米粉パンの活

用の進捗はどうか。  
**A** 教育部長 平成23年度、学校給食センターで、米粉を使用した量は162キロです。米粉

パンについては、市内19校において、無償で米粉が調達できたことから、本年12月と来年2月の給食に米粉パンを提供する予定になっています。

**Q** 国の補助金を活用し、機械を買い、米

の製粉をしても162キロ程度では、本来の目的

達成には程遠いのではない

か。米粉は栄養面やアレルギー対策の面でも活

用の幅が広い。米粉の大量消費を考えると、今後

給食で米粉パンを提供することについて、今後やる

気があるかどうか。  
**A** 教育部長 あくま

でもネックとなることは、経費です。その問題

が解決すれば、給食センターでは、今までのパン

を米粉パンに切りかえるのに、何ら不都合はあり

ません。今後も経済環境部と調整して、経費の都

合がつけば、どんどん使

っていきたいと考えます。

**Q** この費用が増す分

を市が支出するかどうか。給食で米粉のパンを使う

ということが、現実化すると思う。ぜひ来年度の予算編成に反映してほしい

か。  
**A** 市長 今回の状況を踏ま

えながら、私のほうも、必要であれば、

米の消費拡大という中の一環であるので、地元

の米作を守るといふ面から検討してまいりたいと思

います。

**Q** こども園は自園給食

であり、給食センター

よりも、さらに使いやすい

と考えます。米粉の消費について

はどうか。  
**A** 保健福祉部長 現在、

保育所、こども園では、議員御指摘のとおり、

小麦粉アレルギーの子供がいて、その代がえとし

て、米粉を活用していま

す。さらなる活用につ

いては、今、市長が申した

きには、米粉米の生産について、きちつとしたスケジュールを作り、周知

して、契約という形でや

ってはどうか。  
**A** 経済環境部長 水田

の作付をする際申請して、その中で、どう

いう活用をしていくかとい

うことを決めていきます。

契約の中で、米粉用米、加工用米、飼料用米と、

区分しており、この米粉用米についても、そのよ

うな形になっています。

**Q** 食育推進計画につ

いてはどうか。  
**A** 経済環境部長 保健

福祉部、教育部、経済環境部の各分野の中で、

その特性を生かした中で取り組んでおりました。

これらの取り組みを踏ま

えまして、食育推進計画のたたき台を、現在、作

成したところです。

**A** 総務部長 食育推進の計画を一つの施策として、今後、取り上げて

いくことはできるかと考

えます。各部と調整させて

いただきましたと思います。

**Q** 介護保険について

い受領委任払いの制度

について、初めから選

択できる周知方法に取

り組まれてはどうか。  
**A** 保健福祉部長 御指

摘の点につきましては、

これから市のホームページ

やケアマネジャーのいる

事業所へ周知を図って、

利用者が選択できるように

周知を図りたいと考え

ます。

2万1千254人、退職被保険者数1千58人、合わせて2万2千312人です。

**Q** 国民健康保険の医療

費削減に、同じ有効成分、効能で作られ、

価格は2〜7割と格安のジェネリック医薬品が

あるが、市の現在までの

ジェネリック医薬品利用者の

状況はどうか。  
**A** 市長 国は、平成19

年6月に経済財政改革の基本方針2007を

策定し、平成24年度までに、

数量のシェア30%以上

を掲げていますが、平成

24年6月の診療分24.1%

で、昨年の8月と比較すると

4.1%の伸びで順調に普及が

進んでいます。  
**Q** 医師会の皆様の御

理解あつての推進では